

# 有形文化財 建造物

市指定

おだかじんじゃほんでん  
小高神社本殿

所在地：滝の口449

所有者・管理者：小高神社



本殿正面



本殿正面

左右小脇板には、鯉の滝昇りの彫刻が施される

小高神社は、日本武尊<sup>やまとけりのみこと</sup>が東征のおり、当地で賊を平定したことにちなんで創建されたと伝えられ、日本武尊を祭神としています。

本殿は一間社流造で屋根は柿葺でしたが、現在は銅板葺です。元禄時代の建築と考えられ、多くの彫刻を用いた建築は、当時の流行をよく表わしています。平成23・24年度にかけて本殿の解体修理工事が行われ本殿基礎内部からは墨書された一字一石経が出土しており、神仏習合色の強い神社であることがわかりました。拝殿の前にある石灯籠には、宝永2年（1705）の年号があり本殿の建築年代と一致します。拝殿は19世紀中ごろの建築と考えられています。内部に掲げられた連歌の額には、天保10年（1839）と記されています。



本殿脇障子 竹に虎



小高神社 拝殿